

北会場篇



第8回目は 北会場をウォッチング。
石狩街道(国道231号)をまっすぐ北へ進み、少し右に曲がると見えてくるオレンジの看板が目印。札幌市北区の住宅地にある住宅展示場です。
平屋から二世帯住宅まで“実際に住まう広さ”に合わせた間取りが見学でき、1日で回るのがちょうどいい全8棟が建ち並びます。



住宅収納スペシャリスト
整理収納アドバイザー
宅地建物取引士

米村 大子
Hiroko Yonemura

家事効率の良い住まいは“片づけやすさ”に比例します。のべ900件以上の片づけの現場を解決してきた整理収納アドバイザーの目線と住宅収納の専門家＝住宅収納スペシャリストの目線で「おうち時間が快適になる収納の見どころ・イチオシポイント」をお伝えしていきます。

1. 三愛地所

玄関を入ると、北海道には欠かせない土間仕様のクロークがあり、冬場の除雪道具や家族分のブーツに長靴、夏のアウトドアグッズが収納できます。リビングからは見えないキッチン側には、買い物帰りの動線を考えたパントリーや冷蔵庫が配置され、効率の良い日々の暮らしがイメージできます。現地で間取り図面をもらって、参考にしたい部分にチェックを入れておきましょう。

玄関から繋がる吹き抜けは、アイアン調の階段が生活空間の開放感とオシャレ感を演出。お部屋は人気の高いウッド調を基調とし、子供部屋にはエコカラットを利用したウォールアクセントを使用。浴室・洗面所・洗濯スペースは生活動線を考慮し、省スペースで機能的。実際の暮らしがリアルに体験できるモデルハウスです。



体に心地よくオシャレな演出のエコカラット



ホールから見た1階。左手前に土間が広がる



子供の成長に合わせて間取りの変更が可能



回遊動線で、行動は無駄なくスムーズに

2. アイルホーム

道産木材を使った家づくりで、本物の木が伝える質感や温かみ、使うほどに愛着が湧いてくる住まいを提案。呼吸する「木」を使用する住宅は、冬は温かく住まい、夏も「涼しく住まう」という四季折々の快適性を実現しています。

1階は生活スペースを集中させた設計となっています。キッチンからユーティリティー・浴室・洗面所と回遊式動線を採用し、

日々の家事をしながらも“生活がスムーズに進む”が体験できるモデルハウスです。2階はフリースペースと主寝室・子供部屋。子供部屋は、最初は広く使い、個室が必要となった際には壁を設けて2部屋に。その時々を快適に暮らす工夫が盛り込まれています。実際のモデルハウスで“長く暮らす工夫”が集まった機能性を確かめてください。

3. タマホーム

家を建てるなら欲しかったスペース【BEST3】がラインナップするモデルハウス。

吹き抜けの玄関ホールを開けると、ワイドなLDKが広がり、その先には中2階の【ワークスペース】を配置。同じ空間を共有しながらも目線の高さが違うため、適度な距離感を得られる設計です。キッチン横には、【家事スペース】を完備。機能的かつ生活感を出さずに暮らすポイン

トは、ONとOFFをゾーニングすること。洗濯物を干す・アイロンを掛ける・洋服のほつれを直すなどの「くちよこ」と家事なら、このスペースがあるおかげで、空き時間を見つけて速やかに作業することができます。

2階の主寝室には、WCLと男性の憧れ【書斎コーナー】も。1日の終わりをしっかりと味わいつつ、明日の準備もはかどります。



高低差を付けた設計で、くつろぎの場を演出



書斎コーナーで、就寝前に1日を振り返る